

地域資源を基礎にした「置賜自給圏推進機構」(仮称)に関する基本的な考え方

置賜圏内の多くの組織・有志が集い、置賜の地域資源と人々の暮らしを繋ぐ「循環型地域社会」を構築するため、新しい地域のあり方を考え実践しよう！－山形・置賜から世界へ情報発信－

構
想
推
進
地
域

米
沢
市

長
井
市

南
陽
市

高
畠
町

川
西
町

小
国
町

白
鷹
町

飯
豊
町

背景と趣旨

地域の活力低下と打開策

【地域を取り巻く環境】

どの自治体も、地域活性化や地域振興に関する多様な取り組みを実践してきたが、厳しい状況



【背景】

国境を越えた企業の利益追求と資源収奪型の経済活動、富の一極集中を後押しする国際金融システム等



【結果】

国内中小零細企業、家族農業、地域経済の先細り



【打開策に関する一つの提案】

置賜を一つの地域ととらえた「自給圏」の設定



【提案の基本的な考え方】

- ① エネルギーと食、住の圏外依存度の削減
- ② 圏内の豊富な地域資源を活用し、産業を興し、雇用を生み、富の流出を防ぐことによる地域経済を好転・持続化



「循環型地域社会」の構築

自給圏構想の柱

エネルギーと食、住の地産地消

1 地産地消に基づく地域自給と圏内流通の推進

- ① 自然資源の有効活用による再生可能エネルギーの地産地消の加速化
- ② 地域で生産された農林水産物をできるだけ地域で消費する取り組みを進めるため、圏内消費層と生産団体を有機的につなぐシステムの構築
- ③ 地域の森林資源を生かし、地元産材利用を後押しする
- ④ 地元小売店への圏内生産物の取り扱いによる占有率の増加を図ること、及び学校、病院、旅館・ホテル等飲食業における地元農林水産物の率先利用

2 自然と共生する安全・安心の農と食の構築

- ① 社会資本としての農村、自然環境や文化・伝統、人材育成等を担う視点を再認識し、水源涵養、景観保持等の効率性や経済性を超えた価値の評価
- ② 全国に先駆けて取り組んできた高畠町の有機農業。人にも環境にも負荷が少ない持続可能な循環型農業を核として取り組むことによる安全・安心な置賜の食の実現

3 教育の場での実践

- ① 平成26年4月に開学した県立米沢栄養大学や置賜農業高校等と行政施策との連携システムの構築
- ② 学校の田畑、地域農地の活用による作物・調理を学ぶ教育実践の場としての活用の推進

4 医療費削減の世界モデルへの挑戦

- ① 農家以外の人々が土や農に関わることができる道を拓き、生きがいづくり、健康づくりによる食への理解促進
- ② 上記の取り組みの実践を通じた健康長寿による医療費削減の世界モデル構築への挑戦

構想推進体制

産・官・学・民

1 推進組織の設立

「置賜自給圏推進機構」(仮称)

(1) 想定される構成団体

行政(山形県、3市5町)、教育関係(教育委員会、大学、高校、幼稚園・保育園ほか)、農林業団体(JA、NOSAI、酪農、土地改良、森林ほか)、エネルギー団体・企業、病院、医師会、歯科医師会青果団体、生協、スーパー商工団体、観光協会、飲食業組合、旅館組合、社会福祉団体・施設、食生活改善推進団体、消費者団体、市民団体、NPO、個人賛同者、その他

(2) 役員体制

- ① 代表理事(複数)
- ② 理事(1人を専務理事)
- ③ 監事
- ④ 顧問
- ⑤ アドバイザー
- ⑥ 応援団(外部有識者)

(3) 事務局

- ① 事務局長
- ② 事務局員

2 法人化

6月下旬に、一般社団法人化を予定

・実践会議

それぞれの分野において目標を明確にし、策定し、実践する

・広報委員会

- ① ホームページの活用や報道機関を通して会員及び圏内外へ発信する
- ② シンボルキャラクターの普及(例 ようざんキャラ)

構
想
推
進
の
た
め
の
組
織
化

事業内容

多様な取り組みによる着実な展開

－関係部会の設置及び主な事業内容－

1 再生可能エネルギー部会

- ① 再生可能エネルギー賦存量の調査
- ② 圏内自給率の目標に関する調査
- ③ システム導入のための研修会の開催
- ④ モデル実証取組への支援及び成果の検証
- ⑤ 再生可能エネルギー生産の障害と克服するための情報交換と研究開発

2 圏内流通(地産地消)推進部会

- ① 品目別圏内生産量と消費量の実態調査
- ② 圏内及び域外生産物の流通実態調査
- ③ 学校給食及び医療施設における地産地消の実態調査
- ④ 学校給食における地元農産物利用目標率の設定と工程表の作成
- ⑤ 地元小売店における圏内農産物の取扱数量の実態と拡大に向けた課題の整理
- ⑥ 旅館・飲食業・食品加工業における圏内農産物の取扱数量の実態と拡大に向けた課題の整理
- ⑦ 生産者サイドにおける課題整理

3 有機農業推進部会(ケミカルから有機へ)

- ① 有機農業の現状調査(農家数・面積)
- ② 3市5町別モデル農家実証圃の公開
- ③ 普及推進に関する課題整理

4 教育・人材育成部会

- ① 「置賜学」・置賜自給圏推進講座(一般市民普及)
- ② 地域エネルギー講座(山大工学部)
- ③ グリーンツーリズム受入講座(観光誘客)

5 土と農に親しむ部会(身土不二の農舞台)

- ① 普及展示圃及び講座の開設(市民農園の普及など)
- ② 置賜伝統野菜の普及と種子の保存

6 食と健康部会

- ① 農医連携の普及
- ② 食と健康に関する講座(米沢栄養大学・置賜農業高校等)
※ 一物全体食の調理方法(まるごと消費)
- ③ 栽培方法別栄養素の調査研究
- ④ 加工(漬物・干物)講座による普及

7 森林等、再生可能資源の利用活用研究部会

- ① 住と暮らしの環境講座

8 その他

- ① 年次数値目標の設定と事業実施の検証
- ② 意見交換会及び収穫感謝祭の開催

構想推進の効果

自給圏が生み出す宝

1 経済力の向上

- ① 圏内生産・加工・流通による地域循環の推進(農林水産物)
- ② 自給圏ブランドによる付加価値の増大
- ③ エネルギーの創出による域外依存度の減少

2 健康力の向上

- ① 健康な土で生産される農林水産物の摂取による健康の保持
- ② 農的暮らしの実践による健康長寿

3 教育力の向上

- ① ふるさとに生きることの誇りをとりもどす
- ② 農業体験を通じた子供たちの生きる力及び感受性の涵養
- ③ 教え合い学び合いによる人格形成

4 福祉力の向上

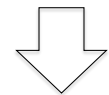
- ① 小規模農家や高齢者の農業実践に伴う技術伝承及び助け合い精神によるコミュニティの維持強化
- ② 食と農を通じた話題共有による地域福祉力の向上

5 地域財政力の向上

- ① 地域経済の創出による税収の増加
- ② 健全な食や生きがいづくりによる健康増進に伴う医療・福祉・介護費の支出抑制

6 地域の魅力向上

- ① 地域に自信と誇りを持つことによる地域の魅力向上
- ② 魅力ある地域形成に伴う交流人口の増加



住民の主体的行動による地域再生

ひとり一人のちょっとした知恵と行動による自立した置賜